



須坂市立小山小学校だより

令和5年5月19日

橋の子だより

No.2 文責：教頭
須坂市立小山小学校

橋の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊か

な人

小山小学校の歴史 (5月18日(木) 校長講話より)

明治6年12月12日



「止善(しぜん)学校発祥の地」
円光寺(えんこうじ)

←小山小学校は、今から150年あまり前に「止善学校」という名前で、南原町の円光寺に生まれました。豊丘には、止善学校支校(今でいう分校)をつくりました。地域には、子どもは350人いましたが、学校へ来たのは113人でした。先生は3人で教えていました。

その後、学校は、小山町の昌福寺へ移り、先生も5人、8人と増えました。

150周年を迎える小学校は市内で小山小、須坂小、日滝小、豊丘小の4校です。



明治15年増築の校舎
「記念校舎」と呼ばれた

→明治11年に、校舎を現在の場所に建て、学校の名前は、小山学校、須坂学校小山支校と変わっていきます。こうしてみると、小山小学校は、今の豊丘小学校、須坂小学校と兄弟だったようですね。



大正11年の新築校舎



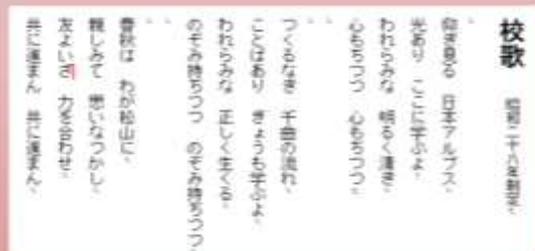
昭和3年の増築校舎



昭和49年の校舎全景
(50年前)

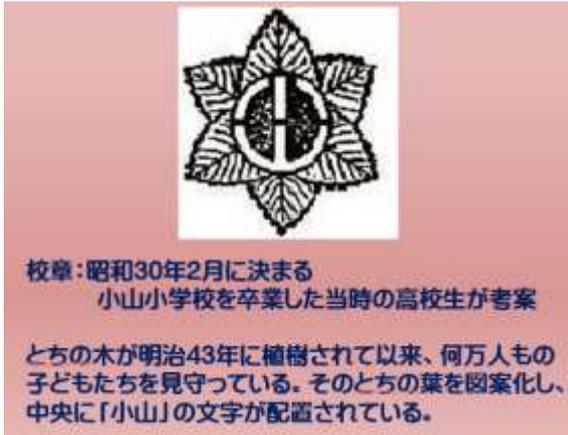


正面玄関

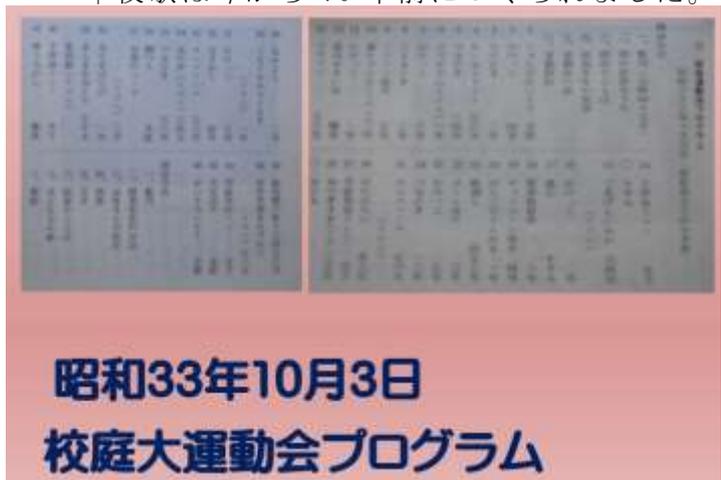


校歌: 昭和28年につくられる
作詞: 石森延男(いしもりのぶお)
作曲: 下総皖一(しもふさ かんいち)

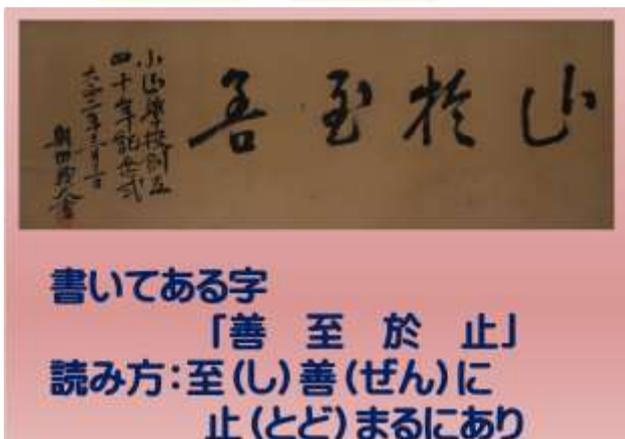
↑校歌は今から 70 年前につくられました。



↑校章は、今から 68 年前、子どもたちが、とちの木のように丈夫にすくすくとスケールの大きな人間に育ってくれるようにという願いが込められています。



↑今から 65 年前の運動会プログラムです。見えづらいですが、当時は 1 日かけて、45 種目ありました。全校の校歌ダンスはまだありません。その代わりに、午前最後の種目として、おつきさまという全校のリズムダンスがあります。どんなダンスだったのでしょね。現在は 15 種目です。今年は、150 周年を記念して、校歌ダンスが形を変えて復活します。楽しみですね。



↑止善という意味は、優しくいうと、「人には、天から授けられた立派なよい心がある。その良心を磨き、皆にそれを広め、そして、いつも高いところに保っておく努力をしない」ということです。

学校は、いつも（良心）良い心を立派に磨き上げるところ、そして、その磨き上げた良心を押し広げるところ、そして、良心をいつも高い志のもとで保てるよう努力するところという意味を込めて、止善学校としたといわれています。学校で人は育つ、みんなで育ちあう、よいところをどんどん伸ばそうということは、150 年経った今でも大切にしていきたいことですね。

今年は、創立 150 周年です。小山小学校 150 周年キャラクター「とちのつき」も決定しました。6 東の児童の作品です。150 周年にふさわしい、とってもすてきなキャラクターですね。学校の歴史や出来事を紹介して、小山小学校ってよい学校だなという思いをもってほしいと思い、今日は歴史と額の話をしました。校長室に額が飾ってあるので、いつでも見に来てくださいね。

<学校より>

5 月なのに 30℃を超える暑い日があります。運動会の練習等もありますので、児童への定期的な水分補給の声かけや効果的なエアコンの使用等、熱中症対策をしていきます。

<保護者の皆様へのお願い>

トラブルのもととなりますので、放課後、友達の家で遊ぶ際には、留守宅で遊ばないことをお子さんと再度ご確認ください。